

「西郡地区の絆を推進する会」 発足の経緯

◆西郡(山手地区)を支えてきた諸先輩からの「西郡地区の歴史と伝統」を次世代に引き継ぎたいとの自治会への要望(平成26年6月)

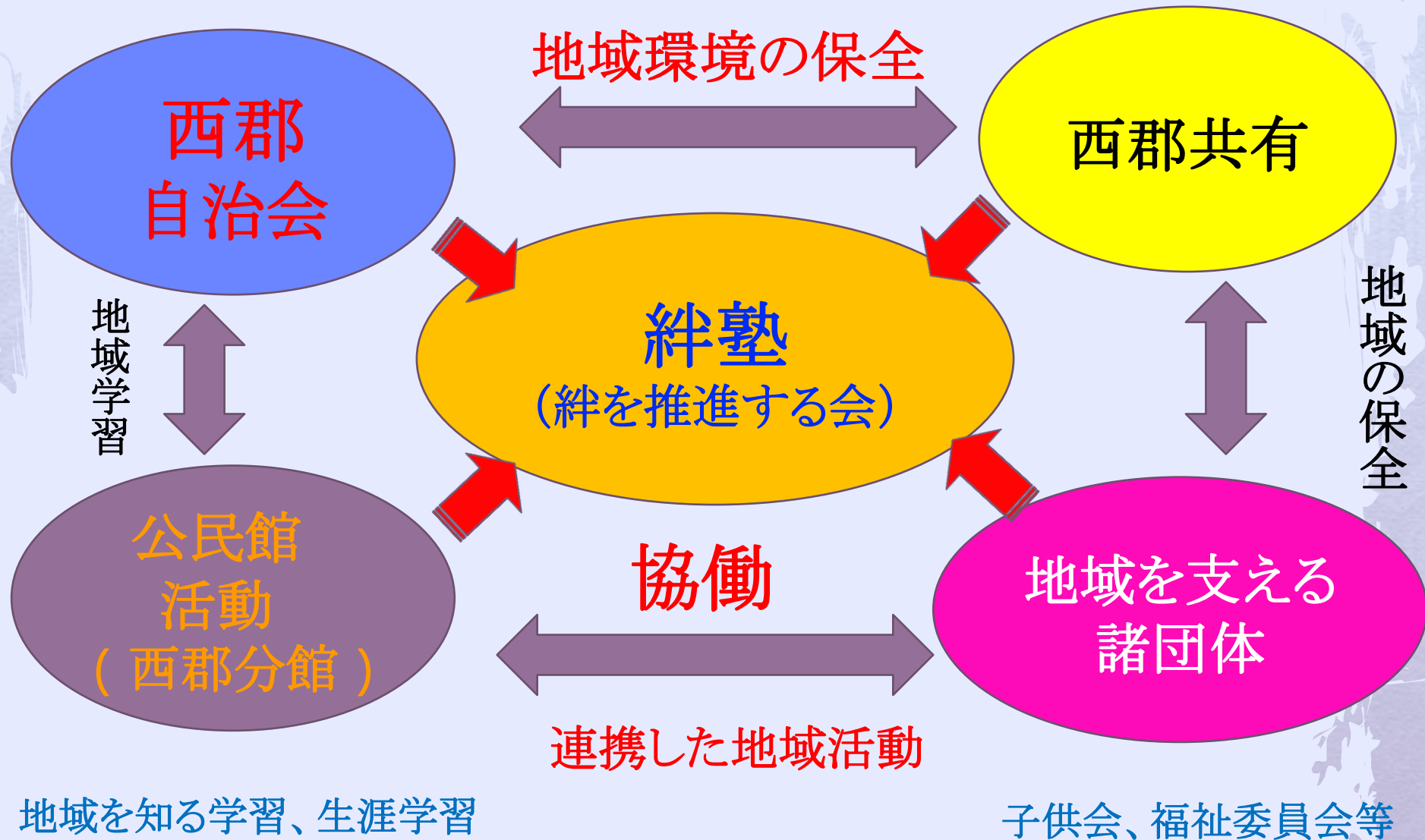
◆「西郡地区の絆を推進する会」の発足

風早 昱源	総社市社会福祉協議会長	元山手村長
劔持 章人	元総社市議会議員	元山手村議会議長
劔持 雅久	山手公民館西郡分館長	元山手村教育委員会教育長
劔持 信生	総社市文化財保護審議会副会長	
上山 隆道	元西郡自治会長(総社市合併時)	
日野浦 弘幸	元総社市教育委員会文化課職員	元山手公民館館長
劔持 堅志	西郡自治会長(平成26年～27年)	事務局担当

「西郡の歴史とくらし」刊行に向けての課題

- ◆「西郡の歴史とくらし」を平成27年度に刊行
地域の歴史と伝統を次世代、新たな住民への継承
- ◆ 刊行資金(約50万円)の確保は？
自治会からの支出は困難が予想された。
(住民の理解を得るのは困難、自費出版？)
- ◆ 解決策 → 総社市市民提案型事業への応募
- ◆ そのためには、出版以外に補助金の趣旨に沿った
市民参加型事業を実施し、住民に地域を知る機会
を提供する。
- ◆ 併せて、今後の地域活動を担う人材を育成する。

活動のスキーム (地域団体との協働)



西郡地区の絆を推進する会(絆塾)について

— 絆塾の目的 —

地域の課題を考え、協働して解決するための共通基盤を創生し、子どもたちから高齢者まで、全ての住民が活発に交流し、地域の将来を展望できる西郡をつくるため、地域の諸団体が協働できる態勢をつくります。

(1) 総社市との合併11年を経て住民が急増する西郡地区の歴史や伝統を新たに入居された方や若い世代に継承し、今まで以上に住民が強い絆と優しさで結ばれた子育てしやすい活気ある西郡をつくります。

(2) 地域の活動を支えている自治会、西郡共有、公民館分館活動等の諸団体の力を結集し、地域の現状と将来を考え、住みよい地域をつくるための共通基盤(プラットフォーム)として機能する『絆塾』をつくり、福山の活用・保全などの地域の懸案事項を協働して考え、解決策を提案していきます。

(3) 住民が必要する情報を的確に伝え、失われつつある地域の歴史、伝統、くらしなどを記録・蓄積し、収集した情報を住民に的確に提供・活用できるシステムを整備し、地域の財産として次世代に継承します。

(4) 地域づくりや情報化に意欲ある若手を発掘し、地域の将来を支える後継者を育成し、安全で安心して暮らせる西郡をつくることを目標とします。

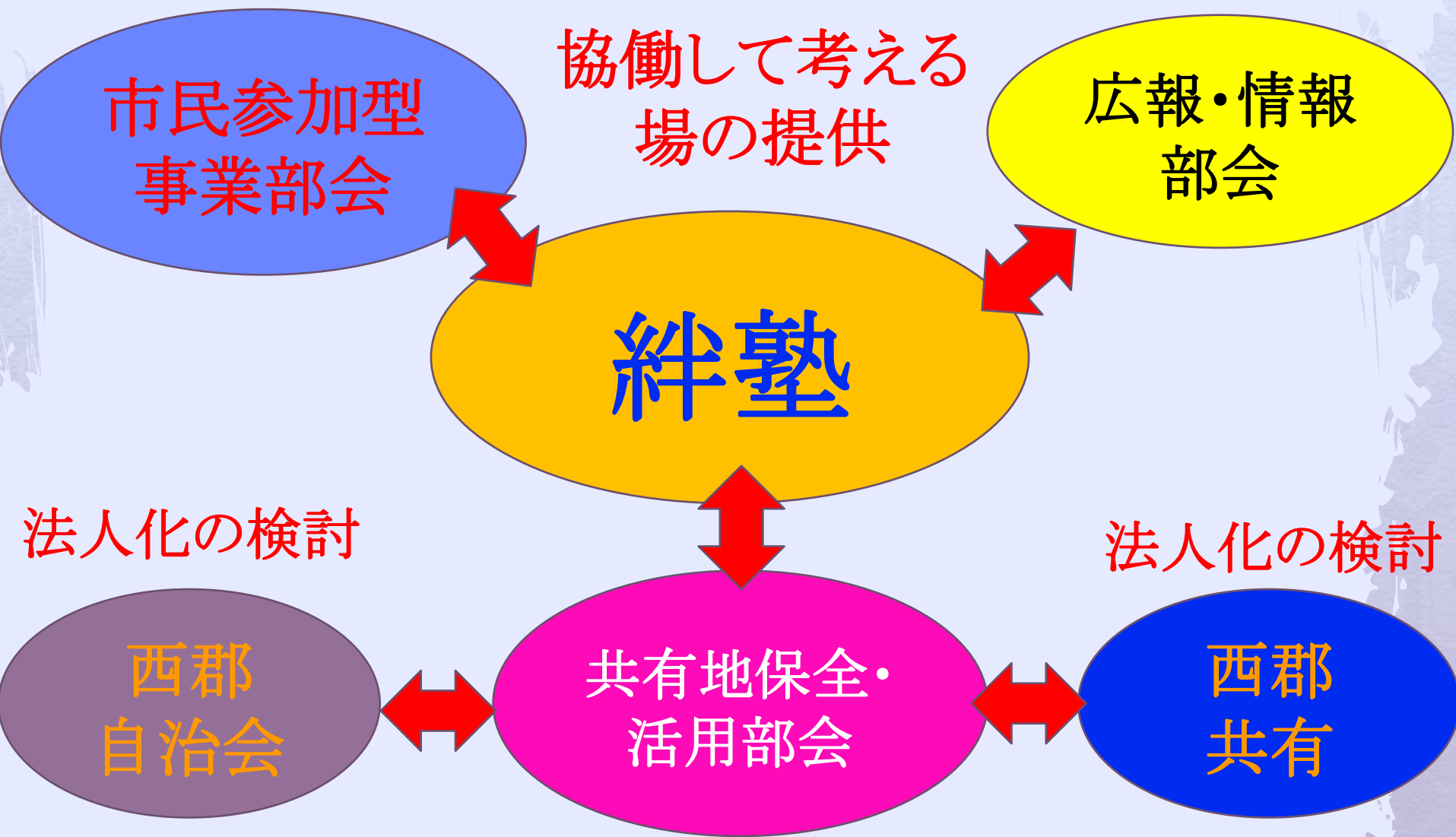
『絆塾』の創生

- ◆ 住民が協働できる『絆塾』の創生 → 人材育成
- ◆ 『西郡の歴史とくらし』を活用した様々な市民参加型事業の開催
- ◆ インターネット、情報誌等を活用した住民広報の充実
- ◆ 新住民や若い世帯が求める情報をまとめた『西郡の歴史とくらし』(くらし編)の発刊
- ◆ 自治会及び西郡共有の法人格取得と福山、幸山などの共有地の保全と活用

平成28年度の役員(幹事の若返り)

- ◆ 板野 誠 山手公民館西郡分館長、元自治会長 【会長】
- ◆ 劔持 英二 元自治会長、元共有総代長 【副会長】
- ◆ 新谷 修 山手公民館西郡分館主事 【副会長】
- ◆ 劔持 堅志 前自治会長、元共有総代長、医博 【事務局長】
- ◆ 劔持 亨 やまて虹の会(十日町市・やまて友好交流支援)幹事
- ◆ 酒井 浩恵 山手小学校PTA会長、子供会会員
- ◆ 塚原 紗耶 (独)国立病院機構医師、子供会会員
- ◆ 日野浦 弘幸 元総社市教育委員会文化課職員、元山手公民館長
- ◆ 守安 勝己 元西郡共有総代長
- ◆ 劔持 郁夫 西郡自治会長
- ◆ 阿部 英志 西郡自治会山手地域づくり協議会担当副会長
- ◆ 前田 一樹 西郡共有総代長
- ◆ 守安 睦夫 シルバークラブ会長
- ◆ 風早 加那 西郡子供会長

部会の設置



西郡地区の絆を推進する会(絆塾)について

— 事業内容 —

『西郡の歴史とくらし』の刊行、**320**名を越える住民が参加した『防災講演会』、地元の専門家の協力を得た「絆塾」の開催などの活動で得られた経験と地域で育ちつつある『絆』と住民アンケートで示された住民の意向に沿って、地域の諸団体と協働して下記の事業を実施する。

- (1) 住民が必要とする情報を的確に伝え、地域の歴史を記録するため、ホームページの開設、絆塾ニュースの発刊、広報掲示板の活用等により地域の絆を強める。
- (2) 新たに住居定められた住民や若い世帯が必要としている地域情報、年間行事等をまとめた『西郡の歴史とくらし』(くらし編)を発刊する。
- (3) 共有地管理のための自治会の法人格取得を検討し、西郡地区が抱える長年の懸案事項の解決を図る。
- (4) 地域の諸団体と協働した市民参加型事業の開催により地域の一体感を高める。

これまでの活動の成果

- ◆「西郡の歴史とくらし」の発刊（平成26年～）

A4版フルカラー全24ページ

（地域の歴史と伝統の次世代、新住民への継承）

- ◆ 住民が地域を知る機会の提供
（市民参加型事業の実施）
- ◆ 住民が必要とする地域情報の提供
（ホームページの開設、広報紙の定期配布など）
- ◆ 福山、幸山の保全と活用を目的とした自治会及び共有の地縁法人化の検討と提案